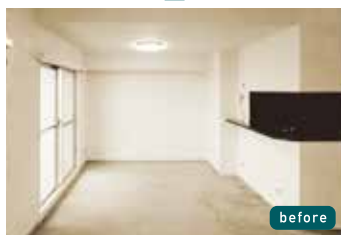




小物を飾っていたスペースもどんどん本で埋め尽くされていくという本棚。「子どもの本は装丁が賑やかなのでオシャレな感じにはならないんですが(笑)、勉強ではなく趣味として本を読む子に育ってくれたので、うれしいですね」と奥様。元和室の地窓は明かり取りとして上手に活かしています。



照明のスタイリッシュなデザインが効いているダイニングキッチンには、以前よりもぐんと開放的に。カウンターのモルタルは、撥水性の実験をしてより効果の高かった塗装仕上げを選んだそうです。



インテリアに馴染む色を探したというピアノ。ご主人のお母様がピアノの先生で、お子様たちも幼い頃から習っているのので、「わが家にとって欠かすことのない存在」だとか。



わが家らしく、心地よく。 好きなものに囲まれた こだわりの住まいづくり。

+

イマドキ
リノベの
処方箋
15

【兵庫県神戸市】O様邸

今回ご紹介するのは、築30年のマンションのスケルトンリノベーション。
住戸内を柱や梁など構造体だけの“空っぽの箱”の状態にして、
内装から間取り、設備まですべてを一新した大規模なリノベーションです。
住み慣れた街で暮らし続けたい、という想いのもと、
わが家ならではのこだわりの住まいづくりを実現した
O様ファミリーにお話を伺いました。



子どもたちの成長を機に リノベ計画をスタート。

玄関の扉を開けた瞬間に、住まいや暮らしに対する感度の高さが伝わってくるO様邸。構想に約1年、工事に約3カ月を要したリノベーションは、どのような流れで実施することになったのでしょうか。

「もともと同じ敷地内の別の棟に住んでいて、最初はその家でリノベーションを検討していたんです。ただ、子どもたちの成長を考えると、もう少し広い方がいいね、という話になって。住み慣れたこの街が気に入っていたので、それならここで中古物件を探して、一から間取りや内装を決めることができるスケルトンリノベーションをしよう、ということになりました」

リノベーション業者の選定に関しては、デザイン主体の設計事務所から工務店まで検討を重ねた結果、マンションの事業主である積水ハウスグループの管理会社、積水ハウスGMパートナーズへ依頼。「構造や設備などテクニカルな部分も含めてやはり一番安心感がありました。また、近くに住む親族のマンションのリノベーションを担当された積水ハウスGMパートナーズさんへの信頼感も大きかったですね」

家族の好きなものを集めた 心地よいリビングを。

ベースとなるプランは、住まいづくりに興味のあるご主人が自ら作成されたそうです。「一番意識したのは、家族が自然と集まる広々とした心地よい空間づくりです。そこで、本や植物や生き物など目に入るものすべてがみんなの好きなもので構成されているリビングを考案しました」
一方、奥様がこだわったのはピアノの位置だとか。

「リビングに置かないと子どもたちが練習しなくなるので(笑)。読書は家族共通の趣味なので、ピアノと本棚の両方をリビングに置くにはどうすれば良いかを考えた結果、現在のレイアウトになりました」

〇様邸の象徴とも言える壁二面の大きな本棚は造作家具。可動レールで棚板の高さを変更できたり、配線や配管が隠れるよう裏側が二重構造になっている。ささまざまな工夫が施されています。

インテリアのイメージは「倉庫っぽいかフェエ」。

天然木、スチール、ステンレス、モルタル。インテリアの基調はソリッドな印象を持つインダストリアル系ですが、くつろぎ感や温かみも感じます。「主人が目指したイメージは「倉庫っぽいかフェエ」だそう。

「本当はコンクリートや配管をむき出しにする「躯体現し」にしたかったのですが…」

メンテナンスの難しさやテイストの偏りが気になるという奥様の意見を尊重して、少しマイルドに軌道修正。

「リノベーションに関してはほぼ夫に任せきりだったのですが、相談された時に、ちよつとやりすぎかな?と思ったらストップをかけて(笑)。落とし所はふたりで決めていきました」

子ども部屋や寝室はシンプルで、また違った心地よさがありますね。

「正解だったのは、子ども部屋の収納を扉のないオープンなものにしたことです。出し入れがサツとできて使いやすいですし、雑然としていたら目立つので、私が言わなくても自主的に整理整頓や掃除をしてくれています」

ゲストの皆様が注目するのもやはり収納まわ



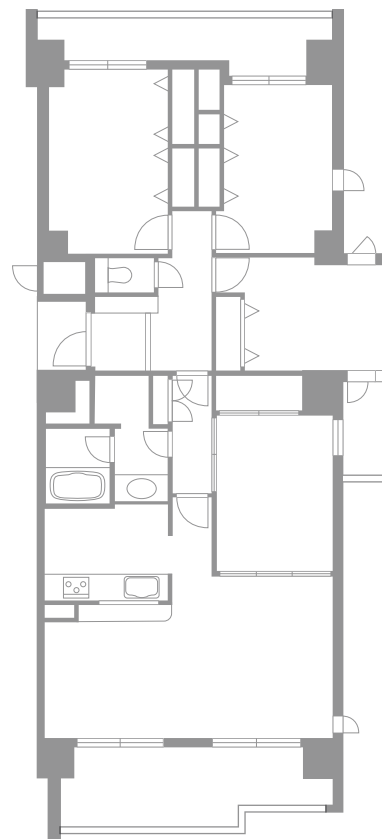
ドアノブひとつに至るまでご主人が吟味した、統一感のあるインテリア。「インターネットやSNSで調べると同じテイストの商品が次々と紹介されるので、情報収集はスムーズでした」



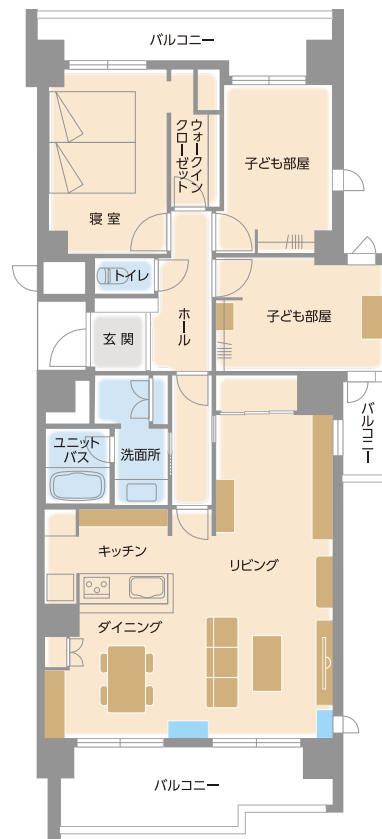
Point 「デザイン性×実用性」

「デザイン重視だと思っていたのですが、実用性も高くて助かっています」と奥様が絶賛するのが、室内を効率よく適温にするシーリングファンと、メンテナンスのしやすい換気扇。冷蔵庫をタイルの壁で隠しているのも、デザインの美しさも十二分に発揮されています。

before



after



〇様邸の特徴のひとつが、各居室と廊下とキッチンで、ナラ材の無垢フローリングにしていること。「単に床板を張り替えるだけでは音の問題が発生する可能性があるため、多角度から遮音性に配慮して無垢フローリングのご要望にお応えしました」と積水ハウスGMパートナーズの担当者。

- 1 整理整頓が行き届いた子ども部屋は、オープンな収納スペースと有孔ボードがポイント。今、何を出しておくべきなのか、判断する力が養われるとか。
- 2 寝室に設けたウォークインクローゼットは、廊下からも出入りが可能。取り入れてみたいアイデアのひとつです。



2



1



1

玄関の“見せる収納”はまるでショップのディスプレイのよう。玄関扉の内側は、インテリアのイメージに合わせたシートを貼っています。



before



before



壁と床をタイル張りにした、おしゃれな洗面室。混み合いがちな朝もふたり並んで支度ができる大きな実験用シンクは、観葉植物のお手入れなどにも便利だそうです。

やりたいことを整理し、実物の質感や手触りを確認。

これでリノベーションを検討される方にアドバイスをするとしたら、どのようなことでしょうか。

「あれもこれも、となりがちなので、こうしたいというイメージを絵や文字にして整理することが大切だと思います。それから、できるだけショールームに足を運んで、質感や手触りを確認することをおすすめします」

そう語る〇様は、とにかくリノベーションが楽しかったとのこと。工事中はほぼ毎日仕事帰りに現場に立ち寄り、変更したい部分があれば写真にイメージを上書きして、担当者に相談されたそう。

奥様は今のお住まいに関してどんな感想をお持ちですか。

「とても居心地のよい、暮らしやすい家で、本当に大満足です。だから、私がストップをかけたことも含めて、まだまだやりたいことがあると言っている夫が怖いです(笑)」

*

最後に、仲良し兄弟に住まいのお気に入りポイントを伺いました。「玄関からリビングの水槽が見えることです。帰って来た時に気持ちがいいと和んで、癒されます」と長男様。本棚が一番好きです。大きいので種類分けがしやすい、とても便利だからです」と次男様。明快にお答えになる姿が何とも頼もしいおふたりが、このお住まいで伸び成長される様子が目に浮かびます。